



INGING MOTORSPORT



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [<http://www.inging.co.jp>]

# INGING NEWS PAPER 2011 VOL.07

FREE  
無料

遂に念願の今季初ポイント獲得を達成。

## 2011 FORMULA NIPPON

今、シーズン

スポーツランドSUGOで初ポイント

#33 国本 雄資 5位

# FIRST POINT



The previous race : 2011 第6戦 スポーツランドSUGO

## Round.6 SPORTSLAND SUGO

Round.7 TWIN RING MOREGI 11/5 - 11/6

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.7 [パンキンダ ニュースペーパー]

2011年11月発行 通巻7号

発行：株式会社パンキンダ 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-22-7 CNL/4

# Race Report

第6戦 2011年9月24日・25日 スポーツランドSUGO

# FIRST POINT RACE

国本雄資にとっては、是が非でも今大会で初ポイント獲得を狙いたいところだ。

翌周もアタックを続けた国本だったが、タイムは1分08秒481と更新はならずポジションは11番手。Q1で赤旗を出したオリベラが出走したことで、Q2最下位の12番手は免れたが、最終的に国本は11番手に終わり惜しくもQ3進出はならなかった。予選終了後、国本よりも予選上位のドライバーにグリッド降格のペナルティが科せられたため、68周で争われる決勝をひとつ繰り上がった10番グリッドからスタートすることとなった国本。念願のポイント獲得に向け、追い上げのレースを期待したい。

## Race Report

### Round.6 SPORTSLAND SUGO 9/24 - 9/25

### 遂に念願の今季初ポイント獲得を達成した。

決勝 2011年9月25日 スポーツランドSUGO

**(決勝) 天候:晴れ|コース状況:ドライ** 決勝に向けた最後の調整時間となる30分間のフリー走行は、全日本F3のレースが終了した午前9時40分から始まった。前日からセットアップを変更してこの日を迎えた国本は、セッション開始早々にピットを離れ、さっそく連続走行に入る。3周目に1分11秒146、4周目に1分10秒816と徐々にペースアップ。ポジション的には7〜8番手ながら、周回毎にベストラップを更新して6周目に1分09秒864にまでタイムを上げると、その翌周にいったんピットイン。セットアップ修正を行って午前9時55分にコースに戻った国本は、そこから再びロングランを敢行。決勝に向けたセットアッププログラムをこなして行く。そのまま1分10〜11秒台の安定したペースでチェッカーフラッグが提示されるまで走行を続けた国本は、1〜9号の20歳を消化。最終的に10番手というポジションでフリー走行を終え、決勝に向けた準備を整えることとなった。

やや雲が増えたものの、ドライコンディションのまま午後1時45分から行われた6分間のウォームアップで最終的なフィリングを確認した国本。午後1時58分にはピット出口がオープンとなり、いよいよスタート走行が始まる。国本もイングリッドにマシンを止めるとマシンを降り、スタートのときを待ちながら車中を涼めて行く。そして午後2時32分、ファーストセッションラップの後、ついに68周の決勝がスタートのときを迎えた。レッドシグナルが消えた瞬間、好スタートを見せた国本だったが、なんと目の前の小林聖志がスタートイン側に切れ込んで、寸前どころで小林のマシンとの接触を免れた国本だったが、セクターの好スタートがふいにアウトからジョア・ペドロ・オリベラにかき消され、ポジションは10番手に落ちた。しかし、1周目に半周一直線がピットインしたことで、ノーペンラップの国本は9番手。さらに午前9時40分、オリベラが2〜3周目にピットインしたことで、国本は3周目以降7番手とポイント圏内に浮上する。

ここから前を行く小暮卓史を抜いて周回を重ねた国本は、1分10秒台と上位圏と交わりながらタイムを更新。これまでのレースで経験されたペースの落ち込みも見せず、国本は小暮のピットインによって15周目には6番手に。



### Project μ/CERUMO・INGING [33] 国本 雄資

Time	1:21'33.945
Delay	0'41.909
Best	1'09.821



FORMULA NIPPON 2011 SERIES

さらに上位陣がピットインを行ったため、23周目に5番手、24周目に4番手と順調にポジションを上げて行った国本は、旗を持って25周目にピットへ。2回のタイヤ交換を伴うピットインが義務付けられた今大会だが、ここではチームはタイヤ交換のみを行って、最終的に国本をコースに戻り出す。

伊沢拓也と平手の間となる7番手までレース復帰した国本は、27周目には1分09秒905とその時点でのファステストラップに迫るほどのベストタイムをマークするなど平手を引き離し伊沢を猛追するが、フレッシュ過ぎた68周目のハイブリッドコーナーでコースオフしかけてしまう。しかし、ポジションを落すと同時に順位を上げられた国本は、上位陣のピットインによって34

周目に6番手、35周目に5番手、さらに37周目には4番手と最終的にポジションアップ。翌周には再びハイブリッドコーナーでもアウト側にはみ出してしまった国本だったが、43周目に1分09秒882とベストラップを更新するなど、レース後半に入っても伊沢追走の手段はない。そして50周目、2回目のピットインは自前の伊沢と同時に、ピットの作業終了後ここでタイヤ交換と給油を行ったチームだが、迅速な作業で国本が先に動き出したものの、ピット位置が前方だった伊沢もギリギリのタイミングで動き出し、同じくも逆転には至らず。アウトラップに猛アッシュした国本だったが、伊沢も巧みなライン取りを見せてこれをかわり、2台はそのまま接近戦の争い争いを続けるとに。

この国本の背後から、終盤には大迫和也が迫って来たものの、55周目に1分09秒875、59周目に1分09秒821とベストラップをたたき出した国本は、最後まで6番手の伊沢を追い続けたものの、惜しくも逆転はならずそのまま7番手というポジションでチェッカー。しかし、翌々のレース運びをさせた国本とProject μ/CERUMO・INGINGは、ついに念願の今季初ポイント獲得を達成した。

夕陽照るパドックを後にした立川監督は国本が、なんとレース後の再検査で2位フィニッシュのオリベラと8位フィニッシュの伊沢に直道逆転がもたらした勝利という判定が下され、国本は7位から5位に繰り上がることに。この結果、国本とProject μ/CERUMO・INGINGは、2ポイントではなく4ポイントを獲得することとなった。



RACE RESULTS

## 33 国本 雄資 CERUMO/INGING Round.6 Race Comment 監督:立川 祐路 CERUMO/INGING

「スタートでは結構動き出し良かったんですが、いきなり前のマシンが止まっていたのでビックリしましたね。序盤からクルマのバランスが良く、思った以上に良いペースでの走行が出来ました。早めのピットに入るのかなと思っていましたが、自分のペースが周囲と比べてかなり良いのは無難で良いでしたし、ポジションがどんどん上がったのでとにかくフレッシュして乗りました。いつもは10周を過ぎるとペースが落ちることがあったのですが、その課題を見直し、今回はトリーニングも頑張ってきたので、気持ちの面で余裕があるように思っていました。今日はポイントが獲得出来たので、これでひとつ山登りしたように感じます。今回目標だったレースペースが改善出来たので、次は予選でもっとポジションを上げられるようにして、さらに上位を目指したいと思います。」



「今日は本当に国本は良く頑張ってくれたと思います。レースペースもトップグループと遜色ないくらいのものでしたし、課題だったレース中の落ち込みもなかったですからね。最終的には、最初より早く入ったほうが良かったのですが、国本のペースが良かったので遅くは入りませんでした。先にピットインしたドライバーよりも前に出られたので、それも結果的に上手く行ったと思います。今日はチームとしてもメカニックのピット作業も速かったですし、国本はもうチーム全員が頑張ってくれた結果のポイント獲得です。課題は置かれてから、コーナーでのものは良く、実力でも取ったポイントですから、今日は本当に良かった。今日の結果の良ければ、次のレースでもっと早く順位を上げればさらに上位で戦えるはずだと思うので、次も期待しています。」

